

四国電友会会報

第 1 2 0 号

平成 14 年 10 月



目次

NTTグループの動き	2
・「電信電話記念日」祝賀会ご招待の取りやめ	2
・「ワン切り」に対応 契約約款認可	2
会社紹介(株NTTマーケティングアクト四国)	3
お知らせ	3
・電友会本部会議等	4
支部だより	4
・サークル活動代表者打合せ会開催(愛媛)	5
年金を取り巻く環境等について	5
健康のページ	6
・我が『甲状腺学』考	6
お知らせ	6
・医療費の患者負担等が変わりました	6
人生さまざま・後半生を生きる	7
・自然を創作する楽しさ(栽景盆栽)	7
私は今	8
テルウエルだより	8
・「NTT生活支援・介護ボランティア愛媛」	12
総会開催	12
・「テルウエル香川介護サービスセンター」総会開催	12
サークル紹介	13
・NTT・OB香川琴同好会(香川)	13
・シニアネットよさこい(高知)	13
出版物の紹介(「極秘電報に見る戦争と平和」)	13
M・M(マルチメディア)コーナー	14
ボランティア紹介	14
・でんでん宿毛・大月OB会	15
俳句(香川)	15
物故者叙位叙勲・敬弔	15
表紙の言葉	15
編集後記	15

NTTグループの動き

「電信電話記念日」の祝賀会への退職者の招待は、取りやめとなりました。

このことに関するNTT西日本愛媛支店長から皆さんへのご挨拶を紹介します。

「電信電話記念日」祝賀会

ご招待の取りやめについて

平素は、NTT事業に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

NTT西日本は、ご承知のとおり、平成十四年度に黒字化を達成すべく、本年五月一日に「構造改革」を実施し、全社員懸命に努力しているところであります。

こうした状況のなかで、毎年十月二十三日に実施しておりました「電信電話記念日」における祝賀式典につきましても、「聖域なきコスト改善」を図るため取りやめ、退職者の皆様へのご招待も取りやめさせていただきましたこととなりました。

退職者の皆様におかれましては、年に一度の「集いの場」であることは承知しておりますが、NTT西日本を取り巻く厳しい経営環境をご賢察のうえ、なにとぞご理解をお願い申し上げます。

西日本電信電話株式会社
愛媛支店長 伊藤 卓志

「ワン切り」に対応

八月二日 契約約款認可

NTT東・西は、今年七月中旬から大阪府下及び兵庫県で二度、三度と発生した、いわゆる「ワン切り」による輻輳（ふくそう）に対応するため、八月一日総務大臣に契約約款の変更について認可申請し、翌八月二日認可されました。

この輻輳は、固い言い回しをすれば、「特定の回線からの多数の機械的・不完了呼発信による輻輳」というものですが、これは次のような使われ方から生じるものです。

① コンピュータ（パソコン）を用いて、携帯電話に無差別に発信する。② 呼出し音一回で接続を切る（発信者に通話料はかからないが携帯電話には着信記録が残る）。③ 携帯電話の持ち主が、着信記録に基づいて電話を掛けなおすと有料サービス（アダルト番組など）につながる。後刻、料金を請求される。

これは「人から電話が掛かってきたら、つい掛けなおしてしまう」という、人の善意に付け込んだ商売とも言えるかもしれません。しかし、特定の番号から、例えば三分間に三、四千回の発信があるという状況にもなることから、放置しておけば輻輳状態に陥ることになります。

輻輳になると、電話がつながりにくい、最悪の場合にはつながらないということになり政治・経済・社会等々いろいろな面に深刻な影響を及ぼすこととなります。

NTT本社の社長も、記者会見で「ネットワークは、新しい情報の流れに合わせたいか

ねばならないものだが、回線がこのような形で（不完了を前提として）使われることは想定していなかった。限られた資金で整備しているわけだから、このような異常呼のピークに合わせてネットワークを作りあげることが考えられない」という趣旨のことを言われていました。まさに、回線の多様な使い方という時代の「落とし穴」（某新聞）と言えるかも知れません。

NTTでは、このような輻輳を可能な限り防ぐため、今回、電話サービス及びISDNサービスの契約約款の変更について申請し認可されたものですが、その骨子は次のとおりです。

① 特定の契約者回線から故意に多数の不完了呼が発生し、輻輳が生じるおそれがあると当社が認めた場合は、その契約者回線の利用を停止すること。

② その契約者回線から同様の行為が繰り返される場合は、その契約者回線の契約を解除すること。

③ 新たな契約の申込みがあった場合に、その申込者が同様の行為を行うおそれがある場合には、その申込みを承諾しないこと。

NTTでは、今回の契約約款変更の効果について「契約約款の変更として最大限の措置」としています。

一方、電気通信事業法では、電話会社は「正当な理由がなければサービス提供を拒んではならない」と定められていることから、今後の運営も、契約者との関係では難しい要素を含んでいるようですが、同じような輻輳が起きないことが望まれます。

会 社 紹 介



会 社 概 要

- ・商号 株式会社エヌ・ティ・ティマーケティングアカウント四国
- ・所在地 愛媛県松山市一番町四丁目二番地
- ・代表取締役社長 大山 憲雄
- ・設立 平成十四年五月一日
- ・従業員 一四五〇名
- ・営業拠点 愛媛(松山市)、香川支店、徳島支店、高知支店
新居浜支店、今治支店、南予(大洲)支店

は じ め に

㈱エヌ・ティ・ティマーケティングアカウント四国は、本年五月一日に「情報流通総合商社」として、NTT西日本からの受託業務と一般市場(NTTグループ含む)向け事業を行う営業系会社として設立しました。情報通信市場を取り巻く環境が急激かつ構造的に変化し熾烈な競争が進展する中、NTT西日本グループの一員として平成十四年度収支相償、十五年度以降の黒字化に向け「チェンジをチャンスに」民間会社としての発想で経常利益黒字化へ向けて「チャレンジ」を合言葉に、健全な経営基盤の確立、将来に夢を持って会社を創っていくため全社一丸となつてまい進していきます。

事 業 概 要

マーケティングアカウント四国の事業内容は、大きく分けて二つに区別できます。

具 体 的 事 業 展 開

情報通信事業は、情報通信技術の進展によって、インターネットを中心とした「IT革命」や「グローバル化」の波の中、固定・音声通話から移動体・データ通信へと変革し、あらゆるサービス分野において熾烈な料金競争

一つは、NTT西日本からの受託業務で、例えば、NTT西日本の各種料金請求業務や電話等の注文受付業務、各種商品の販売業務などの事業化売上です。

もう一つは、業容拡大売上で、一般市場とNTTグループ各社への事業があり、具体的には、編入したNTTダイナミックテレマが実施していたテレマーケティング事業、人材派遣業、コールセンター事業、ITソリューションサービス事業、広告代理店事業などを展開していますが、今後は更に、ITソリューションに関連するシステムや商品のご提案に力を入れるとともに、新規ビジネスの開拓に努め事業の拡大を図っていくこととします。

争など取り巻く環境が急激かつ構造的に変化をしてきています。このような状況において、マーケティングアカウント四国としては、NTT西日本愛媛支店やNTTネオメイト四国と三位一体となり、インターネットにアクセスする回線の販売を強化します。なかでも、フレッツシリーズの販売に力を注いでいるところですが、今後の光化時代を見据え、Bフレッツを核としたソリューション営業に力を注いでおります。

「フレッツISDN」、「フレッツADSL」、「Bフレッツ」、「Lモード」いずれも低料金で使い放題の定額制を採っており、インターネット人口の急増に伴い、契約数も伸びています。

一般市場での競争に勝ち抜く上で、NTTグループが擁する高度なノウハウ、技術の蓄積が貴重な財産であると同時に、強みでもあり、我が社としては、こうしたパワーをバックグラウンドとし、NTTグループ一体となつて、「情報流通総合商社」としての事業を積極的に展開していきます。

また、その一方で我が社はNTTからの受託業務を行っていますが、我が社はNTT法の規制の対象外であり、様々な縛りを受けません。従って、規制がない分、身軽に動きやすいことも、強みの一つであります。定款上は第二種電気通信事業を初めとし、二十七の事業が出来ることになっており、どのような分野に事業の裾野を拡げるのかは、未だこれからの検討課題ですが、採算の取れる分野であれば、IT関連事業を主体としつつ、積極的に市場参入していきたいと思っております。

お知らせ

電友会本部
第27回理事会・第13回評議員会開催

七月五日、銀座ラフィナートで第二十七回理事会が開催され、芳野本部長が出席しました。主な議題は、①第13回評議員会の議案審議、②平成十四年度ボランティア関係行事、③役員を選任等でした。

また、引き続き開催された第十三回評議員会には、芳野本部長のほか、四国からの評議員三氏（安部孝、杉本价寛、松尾礼徹の各氏）が出席して、①平成十三年度事業報告、②平成十三年度収支計算書、③平成十四年度事業計画（案）④平成十四年度収支算書（案）⑤役員を選任等について審議し、それぞれ承認決定されました。

このうち、平成十四年度事業計画の主な項目は次のとおりです。

- (1)組織体制確立のための施策
 - ①N T T構造改革への対応
 - ②電友会組織の強化
 - ③支部活動の強化
- (2)N T T等の諸施策への協力と推進
- (3)会員の豊かな生活の維持と生きがいの充足施策
 - ①I T普及
 - ②電友会会員のボランティア活動の支援
 - ③電友会会員専用の保険の推奨・充実
 - ④年金、税制等に関する動き
- (4)本部情報の提供

第16回事務局長会議開催

六月二十五日、N T T東日本本社ビルで第十六回事務局長会議が開催され、稲毛事務局長が出席しました。

従来、この会議は九月に開催されていたのですが、今年から開催時期が早まったものです。主な議題は①平成十三年度事業報告、②平成十四年度事業計画（案）、③ボランティア活動推薦について、④ホームページについて等でした。

このうち、②については本部に続いて各地方本部から、それぞれの計画が発表されるとともに情報交換が行われました。

電友会本部が「支部の活動記録」を発行
—— 徳島支部（モデル支部）も収録 ——

このほど電友会本部が「支部の活動記録」を冊子にとりまとめました。

冊子の内容は、①モデル支部の活動状況、②全国の各地方本部・支部ごとの「行事・サークル等活動状況」の二部構成となっているものです。

このうち、モデル支部の関連では、平成十三年度の全国的な会員増強施策の一環として、「会員数が順調に増え、魅力ある電友会活動を行っている支部」が昨年、全国で四支部が選定されました。徳島支部はこのうちの一つになっていきます。（会報一一八号でお知らせ済。他の三つは、北海道、岩手、岡山）

今回の冊子には、これらモデル支部が、会員増加のためにどのような施策や活動をして

いるかについて、四支部それぞれの活動状況が収録されているほか、全国の電友会地方本部及び支部の行事やサークル活動等の状況（種目ごとの実施回数と参加人数）がまとめられています。

「電友会活動の中心は支部の活動です」という考えに立ってまとめられた、今回の冊子の情報をも参考にしながら、平成十四年度は会員増強施策を全国展開することになっていきます。

支部だより

サークル活動代表者打合せ会開催

（愛媛）

愛媛電友会では、九月三十日、N T Tプラザ松山で、O Bサークルの代表者との打合せ会を開催しました。

この会には、従来テルウエルが支援してきた十四サークルと、愛媛N T T—O Bインターネット愛好会を加えた十五サークルの代表者が参加しました。

芳野会長から「従来、テルウエルがO Bのサークル活動を支援して来たが、O Bの生きがい向上や会員の交流と親睦をお手伝いする意味からも、今後は電友会が可能な範囲で支援・協力をしていきたい」と今回の打合せの趣旨を説明しました。

まず、今年度は「どのようなサークルが、どのような活動をしているのか」等を周知する資料を作って愛媛県内の会員に配付することから始めることになりました。

年金を取り巻く環境等について

公的年金(国民年金、厚生年金、共済年金)は、高齢化と将来の人口減少という状況から厳しい環境に置かれています。今回はこれらの概要について関連する資料等からまとめてみました。

年金制度の役割

公的年金は国が責任を持って運営し、社会全体で老後の所得を保障する制度です。すなわち、公的年金は老後の生活を実質的に支えることを目的としたものであり、年金をもらい始めて(年金で生活をするようになって)、初めてこのことを実感できる、あるいは実感したというのは本当でしょう。高齢者世帯の収入のうち64%が公的年金で占められています。そして、高齢者世帯の中から自営業の人や働いて収入がある世帯を除いた世帯では、収入の八割弱は公的年金が占めているという状況です。また、公的年金だけが収入のすべてという世帯も、高齢者世帯の六割弱になっています。

平均寿命の大幅な伸びや核家族化等から老後生活は長期化してきている現在、子どもによる親の扶養や個人貯蓄だけに頼って老後生活を送ることは難しくなっています。このような状況からも、今日、我が国においては、公的年金のない老後生活は考えられなくなっています。

国全体の社会保障の中で年金給付はどの位か

二〇〇〇年度(平成十二年度)予算でみると、社会補償費は七十八兆円でありこのうち年金給付は四十一兆円でした。そしてこの給付額は国民所得の11%を占めています。これが二〇二五年度見通しでは、年金給付額は七十九兆円となり、国民所得の15%になる見込とのことです。

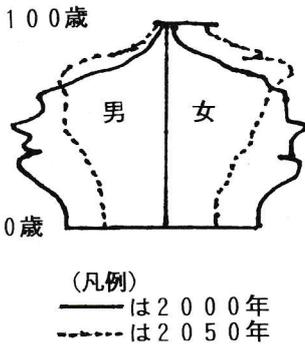
将来の人口の推移と年齢構成

年金の役割から見ても長期にわたって安定したものでなければならず、年金財政の検討のベースとして、将来の人口の推移及び年齢構成は重要な要素となります。国立社会補償・人口問題研究所による推計は次のようになっています。

「総人口のピークは二〇〇六年であり、一億二七七万人、これが二〇五〇年には、一億五九万人に減少する。(出生率が下がって来ていることが影響している)」

(次の図は、同研究所提供のホームページの「ピラミッド図」を参考にしたものです)。

年齢別人口構成図



人口が減少すると年金制度はどうなるか

少子高齢化が原因で人口が減少すると、現役世代の人口が少なくなる一方で、年金受給者が増加するという状況になります。現在、約四人弱の現役で一人の高齢者を支えているのが、二〇二五年にはほぼ二人で一人、二〇五〇年には一・五人で一人を支えることになるという試算がなされています。将来は現役の負担を増やすか、年金給付を減らすかという限り年金制度が維持できなくなると思われる要因はここにもあります。

次期年金制度改正に向けて問題となっている事項

公的年金制度は、少なくとも五年ごとに年金財政の長期的な見直しをやらねばならず法律で義務づけられています。(前回の見直し法案は平成十二年三月末に可決成立) 次期見直しに向けて論点となっている事項は次の点です。

- ①給付について/給付水準、スライド制のあり方、②負担について/保険料負担のあり方、③支え手を増やす取組/パート労働者等の適用、収入のある高齢者に対する給付と負担、④女性と年金問題/第三号被保険者の保険料、離婚時の年金分割、遺族年金制度

老後に必要な年金を補償するとともに、一方では、それを支える負担がその世代の納付を得られないほど重くはできないという制約があることから、給付と負担の両面で厳しい見直しということになりそうです。

健康のページ

我が「甲状腺学」考

NTT西日本松山病院
四国健康管理センタ所長

吉田 幸彦



外來で初めてお会いする患者様に對して、私は必ず現在服用中の薬を尋ねるようにしておりますが、その中に「甲状腺が悪い」と、お答えになる方がいらっしやいます。

その薬を見せて頂けば、当方としては大体どんな病態が察しがつくのですが、患者様ご本人に對しては、どのような病態なのか、なぜこの薬が必要なのか、どのくらい飲み続けなければならぬか、などが殆ど伝わっていないことに驚かされるのが度々です。

何故このようなことが起こるのでしょう。その原因を私なりに考えてみました。先のタイトルに挙げたような学問があるというわけではないのですが、この臓器（甲状腺）の病気に経験豊富な医師が少ないというところが、その理由と思われま

つまるところ、甲状腺の病気とは、その機能が低いか低い（甲状腺ホルモンが出過ぎか足りないか）、腫瘍（できもの）ができてそれが良性か悪性か、ということに尽きると思われます。

また、女性に多いのもこの臓器の病気の特徴です。甲状腺ホルモンが出すぎか足りないかは採血するだけで判明します（ただし、項目によっては少々日数を要するものあり）。できものができてそれが良性か悪性かも簡単な検査で結果がわかる場合が殆どです。たとえ悪性であったとしても、きちんとした治療がなされれば、全く普通にその後の人生を送れることのほうが絶対的に多いと私は言いたいのです。

さらに私として気になるのは、甲状腺が悪い女性（私はこれがどういう状態を言っているのか良くわからないのですが）は妊娠できないとか、甚だしい場合は結婚もできないといった、全くいわれの無い俗説が、けっこうまかり通っていることです。これも、きちんとした治療を受けてさえいれば、全く普通どおりの経過を辿る場合が殆どなのです。俗説は解かねばなりません。

いかがでしょうか。電友会の皆様方、そしてそのお身内や知人に、そのような方はいらっしやいませんか。もしいらしたら、NTT西日本松山病院へ、現役社員の方は当健康管理センタへどうぞお越しください。

お知らせ
医療費の患者負担等が変わりました
平成十四年十月一日から

国民医療費及び老人医療費は、年々大きく増加しており、このままでは私たちの医療保険制度は破綻しかねない状況と言われております。こういった背景のもと、十月一日から医療費の患者負担等が変わりました。その主な内容を国民健康保険を中心にご紹介いたします。

- (1) 七十歳以上の被保険者・被扶養者の窓口負担が変わりました。（原則一割負担、一定以上の所得者は二割負担）
 - (2) 三歳未満の乳幼児の窓口負担は、従来の三割負担から二割へ引き下げられました。（これは少子化対策関連です）。
 - (3) 医療費が高額になったときの払戻額が変わりました。（高額医療費の一か月当たりの自己負担限度額が引上げられました）。
 - ※患者負担の限度額は、世帯単位で計算されること、所得が一定以上かどうか、外来のみか入院も入るかどうかが、国民健康保険適用か老人保健適用かで個々に異なります。
 - (4) 老人保健の対象年齢が七十歳から七十五歳に（五年間かけて段階的に）引き上げられます。昭和七年十月一日以後に生まれた方は、七十五歳になるまでは国民健康保険で診察を受けます。
- ◎ 詳しいことは、市町村の国民健康保険担当部門（老人保健の場合は高齢福祉部門）へお問い合わせください。

ドキュメント
人生さまざま・後半生を生きる

今回は永年「栽景盆栽」に情熱を注いでいる、技の達人“早瀬勝幸氏”をご紹介します。
地元新聞等の取材、有線TVやNHK-ETV「情報徳島交差点」での生放映。新聞やテレビを見た人からの問い合わせや鑑賞に訪れるファンが多くなり、会員も増えるという大変忙しい状況でしたが、原稿を依頼したところ快く引き受けていただきました。
(元木編集委員)

☆ 自然を創作する楽しさ (栽景盆栽) ☆

NTTを昭和五十五年三月に五十五歳で退職。翌月から関連会社(通信建設関係)に入社し、お世話になっておりましたが、第二の職場に十五年間も勤め、平成七年三月に七十七歳で退職。通算して、電気通信事業に五十五年間従事したことになります。

電電公社在職のころの趣味は、野球・バレエ・ゴルフ等屋外スポーツでしたが、昭和五十三年のある日、徳島栽景盆栽会の実習会を見学、感激して早速入会しました。退職後は栽景盆栽一本に絞り、現在まで二十三年間継続して取り組んでおります。

栽景盆栽の全国的な歩みを簡単に記しますと、昭和三十九年に東京都の盆栽の大家、川本敏雄先生が日本盆栽栽景教室を創設し、全

国から同好者が講習を受けて日本各地に支部が誕生しました。
徳島においては、故福家白陽様が徳島市教育委員会の市民講座を開催し、その後、昭和五十年に会員三十名で支部が発足しました。平成八年、私が二代目会長を引受け現在に至っております。



右 栽景盆栽
真作展
出「土柱」

栽景盆栽を端的に言えば、趣のある箱庭で「盆栽をより親しみやすく、より分かりやすく、より手掛けやすく」するために考案されたものです。

さしてお金もかからず、高価な銘木を用いる必要はなく、あまり見栄えのしない木を用いて、石・苔・砂等を総合的に組み合わせ、自然の風景を鉢のなかに縮小して表現します。このように、栽景盆栽は自然を創作する楽しさがあります。

主な活動を紹介します。
(1) 毎月一回の集まりと月報(今年七月で二百号を数えた)の発行のほか、毎年五月と十月に四電プラザ等で展示会を開催し、見学者は毎回、四百名を越え盛会です。

今年の栽景盆栽展では、徳島の名勝地をテーマとしたので、私は、阿波の景勝「土柱」に取り組み出展しました。
(2) 毎年九月の日曜日には、徳島県立神山森林公園において栽景盆栽教室を開催し、講習や実習の講師も行っております。

材料(鉢・石・木・用土・苔)は全て徳島県森林公園が準備してくれます。
(3) 栽景盆栽の活動は、全国で九支部あったものが、現在では、徳島のみ活動となっております。

しかし、世界的には、アメリカ・オーストラリア・ヨーロッパ等各国では日本以上に盛んな活動が行われている模様です。
昨年のアメリカBONSAIマガジンには、米国立樹木園園長のトーマスSエリアス博士と栽景盆栽創始者、川本敏雄先生との対談記事があり、そのなかに徳島の活動が紹介されました。

栽景盆栽は、年齢に関係なく取り組めることから、今後も現在の作品について整枝、剪定、植え替え、水やり等多忙な日々ですが、痴呆防止も考えながら、また、新しい作品作りのため、石の収集と苔の採集等で山歩きをし、体調の維持を図りたいと思っています。

板野町 早瀬 勝幸

私は今

(原稿は九月初めまでに
いただいたものです。)

◇ 池澤 正 (観音寺市)

早いもので退職して七年目になりました。四年前に病で倒れたのを機に、昔から続けていた絵画を本格的に取り組むことにし、現在に至っております。

三年前から各種公募展に出展しており、全国アマチュア公募展で県知事賞、厚生大臣賞と連続受賞。また、香川県展に二年連続入選、しかも去年は初入選で賞をいただく等、幸運な面もあり順調に進展しています。

今後は、地域の絵画仲間との輪を広げるとともに、県展の連続入選と、個展開催に向けて頑張りたいと考えております。

◇ 井出 巖 (さぬき市)

はや古稀も過ぎ、毎日を大切にし、身体が鈍らないよう、自分で出来る範囲内の家事雑用等を適宜こなしております。

月ごとに病院(NTT診療所)のお世話になっていますが、お蔭様で体調は年相応の元気を保っています。

また、ボケ防止も兼ね、歩くこと、声を出すことに心掛け、最近は何を作る勉強も始めています。

過ぎこし人生を振り返りつつ、お世話になりました方々、種々の事柄等を感じつつ、とにかく一日が短く感じている昨今です。

皆様の御多幸をお祈りします。

◇ 遠藤 博文 (高知市)

NTTを退職して四年余り。現在、第二の職場で汗を流しておりますが、この夏、体調を崩し、職場復帰をしたものの、完全な復帰には時間がかかる模様。

復調すれば、家内のチョコボラや家庭菜園作りを横目で見ながら、今までどおり、海・山・川に親しみ、その恵みを満喫するため、車を飛ばそうと思っておりますが、今は孫の世話のため夫婦とも大忙しの毎日。

そろそろ多趣味?を改め、既往症とも相談し、遅まきながら自分に何ができるか、その可能性について考えているこの頃です。

◇ 大崎 秀雄 (松山市)

いつの間にか八十歳に手がとどく程になりました。年月の経つのは早いものと感じます。朝晩、老犬と散歩をしながら犬と同じような歩き方をしているのを知りました。

月に一度の囲碁の集まりも楽しみにしています。狭い庭の家庭菜園にもいそしんでいます。今夏の猛暑にはこたえました。

皆様お近くにいられた節にはどうかお立ち寄りください。

◇ 小川 ヤエ子 (北条市)

皆様お元気ですか。会報を楽しく読ませていただいています。私、九十三歳の母の介護に備えて、二級ホームヘルパーの資格を取りました。二年が過ぎましたが出番がありません。私が世話をしてもらう日々です。

家族全員の健康に感謝し、これからの人生を有意義に過ごしたいと思う毎日です。

◇ 香川 卓 (松山市)

第二の職場を離れて三年、今のところ元気に過ごしています。

室内遊び——パソコンを使ってデジカメ・ビデオ映像の整理・編集等をして楽しんでいます。

屋外遊び——山歩き・サイクリング・旅行等を楽しんでいます。

◇ 加藤 倭文 (徳島市)

第二の職場ドコモを辞めて二年余り。

毎朝五時起床、妻と近くの眉山へ往復一時間のウォーキング、仲間とのラジオ体操で今日一日の元気をもらっています。

毎日の日課は、三十坪ほどの菜園で野菜づくり。いま世間を騒がせている中国野菜も関係なし。季節がよくなると登山、温泉、海外へと自由気ままな旅行で、今年は三十日の外泊を予定。

まだまだ六十代は「人生の華」体力も気力も?充実している今を大切に生きていきたいと思っています。

◇ 島田 恵子 (徳島市)

今月は我が誕生日。父、義母を見送ってまだ数ヶ月。社会的には老齢の烙印をいただき、夏風邪をこじらせ体調不良の折り、友人から誕生日メールが届き「輝くシニアライフを!」とのメッセージ。二年前、家庭事情で退団した合唱団の仲間からも勧誘の電話。自身も身軽になればやりたいことが沢山あったはずなのにエンジンがかからない。

暫くは、細々ながら長年続いている若い仲

間達とのテニスやのんびり旅行等、輝くほどではないけれど健康で老後をと願っている今日この頃です。

◇ 滝沢 竜紀 (伊野町)

退職してはや七年余り。今、農業の真似ごとを一日中やっています。

また、趣味として、鮎を仁淀川で時々取っています。鮎を見て何時も思うことですが、若鮎のようにいつもピチピチしていたいです。特に身体の中央部(大事な所)。それは無理ですか。少なくとも落ち鮎のように黒くヒョロヒョロにはならないよう!ガンバリタイ!皆様はいかがなものでしょうか。

◇ 田中 佳子 (赤岡町)

昭和六十年に退職して十七年が過ぎました。平成元年に主人の故郷に住居を移しました。当初は、田舎暮らしには到底辛抱できず、高知市内へ帰りたい一心でしたが、住めば都と言われますように、最近では近隣の人々とも会話も弾み種々の情報を得ることができるようになりました。

朝夕には愛犬ジョンを曳き、海岸や田圃道を歩いている関係でしようか健康に過ごしています。

赤岡町の四月のドロメ祭、七月の絵金祭の催しは全国的に有名となっております。是非一度、赤岡町へ来てみてください。

◇ 徳田 トミエ (松山市)

七月中旬からお盆すぎまで、次から次と用事が入り、忙しい毎日でした。高校の年一回

の総会、中学の三年ごとの同窓会等楽しい行事が行われました。四十四年ぶりに会えた人も何人かいました。

また、一向に雨も降らず、来る日も来る日も猛暑が続く、滴る汗を拭きながら台所に立つ日もありました。暑い夏の一番の楽しみは高校野球のテレビ観戦です。今年には川之江高校の活躍で大いに盛り上がりました。せきたてるような蟬時雨もいつしか虫の声に変わりました。朝夕の風は肌に心地よくなってきました。

◇ 中田 茂徳 (高松市)

自然に親しむことが好きで、花を見に行ったり、鳥の声を聞いたり、山歩きをしたりしています。

愛媛県新居浜市に西赤石山という山があります。その山頂近くにアケボノツツジの群落があります。五月ごろに花が咲き始めると聞いたので、五月六日に出かけました。今年は例年より花つきが悪いと言っていました。山頂北斜面のアケボノツツジがほんのり淡紅色に山を染めてとてもきれいでした。

◇ 中田 淑子 (徳島市)

この春、高知県野老山(ところやま)にお住まいの藤原花子さんが、草木染で絹糸を染め、紬の着物を織っておられるのがテレビで放映されておりました。途中から見ましたので、作業をされているところを見たくて出掛けて行きました。

続けて何反も織ったので今は休んでいるとのこと、織機に糸は掛かっているのが残

念でしたが、反物や帯を見せていただき、いろいろとお話を伺いました。八十歳を越えたと言われますが、シャキッとされたきれいな方でした。これからも続けるそうです。

私は今六十五歳。これからの五年間の目標に、草木染に再挑戦するのでもいいなと思いがら帰路につきました。

そのためには元気が一番と、身体の調整をしている今日この頃です。

◇ 乗松 武明 (松山市)

四十六歳で始めた小豆島でのマラソン。今年も十一月二十四日に小豆島で「瀬戸内海タートルマラソン全国大会」が開催され、通算十七回の連続出場となります。また、十二月八日は四回目のホノルルマラソンを走ります。そんなわけで、スポーツクラブでのトレーニング、週二回英会話のジオスに通い、楽しくやっています。

◇ 久永 廣 (高知市)

早いもので、退職して八年が過ぎました。毎日暑い日々ですが皆様にはお元気で過ごしのことと思います。

私も、毎日六時起床、家庭菜園の草取り・水掛け等に精を出し、トマト、ナス、キウリ、オクラ等を育成しています。地域の友達と安全活動や町内会のボランティア作業、その後一杯会と忙しく過ごしています。

毎月一回(第一月曜日)OBによる機械会(SW会)で、ワイワイガヤガヤ近況を話し合い、二次会でカラオケと楽しく元気に過ごしています。皆様の御多幸をお祈りします。

◇ 兵頭 寿 (八幡浜市)
平成六年末、職場に不安を抱き退職しました。翌日より退職後のために作っていた会社に入り自営をしています。

順調に伸びていた売上も、長期の不況、大形店の進出により激減、苦戦しています。事業所の厳しさを痛切に感じています。

囲碁、ゴルフ、フルムーンは休止中です。友人、嫁と日帰りから二泊程度の小さな旅を楽しんでいます。好きな百姓は水源(日量八十五トン)を確保し、家の周囲で、畑、山仕事に精出しています。

皆様方の御健康をお祈り致します。合掌。

◇ 平岡 マキエ (三木町)

皆様お元気でいらっしゃいますか。会報を楽しく拝見させていただいております。

退職して十二年が過ぎました。私の健康法は、公民館でヨーガを週一回やっています。少しでも体がやわらかくなるようにと・・・ガッカリです。OB会の方では歩く会に入り楽しく過ごしています。

趣味は家庭菜園に力を入れています。なかなか思うようにいきません。野菜の世話も骨がおれます。虫に好かれて大変です。健康のためと頑張っています。

皆様もお身体に気を付けられますようお祈りします。

◇ 福留 章 (安芸市)

月日のたつのは本当に早いもの、退職して七年が過ぎ、もう還暦を迎えた。若い頃のツケがたまり、朝夕の散歩と酒休日、そのうえ

タバコもやめざるを得なくなった今日この頃は。

妻は、内原野焼六代目、女陶工。私も退職後、陶工として窯を守りながら、二人で焼物づくりを楽しんでいます。

畑では、プロ顔負けの野菜を沢山作り、採れたての野菜を自分で造った器に盛り、山里の生活を大いにエンジョイしています。

◇ 藤川 登茂子 (高知市)

きびしい暑さが続きました。最近お逢いする方も少なくなりました。

今月七十歳を迎え、年代の変わり目か、また、退職以来の子守の仕事や母の介護がなくなった気のゆるみか、体調不安を感じましたが、何か目標があると忘れていきます。

毎年、十日間、天理市で夏の行事があり、全国から子供たちが集まります。私も接待や車イスの介助等に今年も参加しました。

健康法は、リズムを崩さず、食事のバランス、特に、(やめられなくて困っています)オシャベリが元気のもとになっていると思えます。

◇ 藤田 道夫 (松山市)

初孫の女兒が誕生しました。息子を育てたときは、一緒にあって、虫虫大好きな、遊びの大好きな子供に育ててしまい、コオロギに始まり、きりぎりす、クツワムシ、おたまじやくし、めだか、鮎、泥鰌、ザリガニ、せみ、トンボ、カブトムシ、クワガタ、はては怪獣とまちがえてトカゲまで捕まえて来て、方々で飼っていたようです。

風呂場で隠しておいたおたまじゃくしが、突然、蛙になってしまい、クワッ、クワッと鳴き始めて私達を驚かせたりでした。

今でもカブトムシを飼っているこの息子が孫をどのように育てるのか。だんだん自然が失われ、孫の時代にはこのような自然の楽しみは少なくなるかも知れません。

私は現在、神話、宇宙、各地の動物、大昔の恐竜、アニメなど、子供が喜びそうな資料を集めて、一緒に遊べる日を楽しみにしております。

◇ 藤丸 浩史 (三好町)

私は今年一月末で松山での第二就職先を定年で退職し、田舎での生活を始めました。

野菜と果物に挑戦する「趣味の百姓」と町内会長等地元のボランティア的なことで日々を送っています。

また、健康第一として、医者からの助言もあり三年前から始めた、夜明けからの約三キロメートルのウォーキングは毎朝欠かしたことはありません。田舎の朝の空気、季節ごとに変化する景色はすばらしいものです。

◇ 松岡 須彌子 (高知市)

退職して十六年、時の経つ早さに驚きます。皆様お元気ですか。入退院の病氣もりましたが、今は元気に過ごしています。

大病をした主人も仕事を子供に譲り、今は楽しみに俄か百姓を始め、野菜作りをし、側で草引き等を手伝っています。カボチャを植えた花が咲き、小さな実をつけ、見るたびに大きくなり、一つひとつに声をかけながら水や

りをし六個ほど収穫がありました。

去年は、西瓜が大きくなったところでハクビシンに荒らされ、自分たちの口に入りませんでした。ミカン、柿等も落とされたり、いろいろあり面白いです。

また、テレビ観戦で大リーグ、Jリーグ、ゴルフ、テニス、高校野球等楽しみ、主人の海中写真の整理を手伝ったりと平凡な毎日をおこなっています。

皆様の近況を知る唯一の「私は今」を毎号楽しみにしています。皆様の御多幸をお祈り致します。

蟬しぐれ終りし後の殺無情

◇ 松岡 秀幸 (さぬき市)

退職して一年六カ月。子供達も独立し、現在、夫婦二人で孫の来る日を指折り数えつつ日々時間に縛られることなく、「晴耕雨読」の心境で、果樹、野菜、盆栽、菊作り等幅広く親しみ中。特に、野菜の良し悪しに一喜一憂。反省しながら、子供達や友人、近隣へ無理やり差し上げる等して楽しんでます。

一方、妻の趣味であるハーブやガーデニング作りの助手をしつつ、夫婦でハーブ等を楽しみ、健康維持に努めている毎日です。残暑厳しい折、ご自愛を祈ります。

◇ 丸岡 博 (勝浦町)

退職後、早くも五年余りが過ぎました。取り立てた趣味を持たない私は、地域でのボランティア活動や、自分にできる世話役活動を、先ず仲間作りから始め、五年経った現在では何かと地域にも馴染み、仲間も増え

世話役の真似事をしています。

また、ボランティアとしては、NPO法人阿波井戸端塾で、毎年二月下旬から三月上旬の二週間、一万五千体の雛飾り、日本一豪華なビッグひな祭りの手伝い等して元気に過ごしております。

◇ 目黒 チエ子 (高松市)

退職して九十六年が過ぎました。平成四年、義母もこの世を去り、子供三人(男二人、女一人)それぞれ家庭を持ち別居孫も四人です。

昨年七月、交通事故に遭遇し一カ月入院。体調を崩していましたが、大分良くなり喜んでおります。

退職後、好きで入会したカラオケも脱会。趣味が減り残念です。最近ではできるだけ家にももたず、老人会の行事、スパーの梯子。家では花づくり、チョットした刺繍、袋作り等コツコツ楽しんでます。目黒流です。元気に生かされていることに感謝している今日この頃です。

◇ 森本 治子 (高知市)

退職時から始めた水泳を現在も続けています。早いもので十五年目に入りました。時には編物をしながら元気に過ごしております。

◇ 八塚 貞子 (松山市)

お蔭様で元気しております。最近、四国八十八カ所めぐりを終えて、今のところ、身も心もスッキリしています。

昔の仕事仲間と、オシャベリ会で楽しんでおります。

◇ 矢野 恵子 (高知市)

退職して間もなく、友人達と、身障者・高齢者の在宅介護支援サービスのボランティア団体を設立し、リーダーの一人として十年余りになります。

介護保険が実施されても認定されない方などが、在宅で暮らせる手助けを続けています。様々な方達との出会い、ふれ合いがあり学ぶことも多く楽しくやっています。

趣味として、ゴルフは月一〜二回、旅行(国内外)、インターネットの仲間との交流と、ご指導をいただきながらHPを作ったりと結構遊びながらの日々を過ごしております。皆様の御健康をお祈りいたします。

◇ 吉田 登喜子 (高松市)

早くも退職して十六年が過ぎました。平成九年母を見送る。孫三人息子夫婦(県外)より幸せと希望を沢山貰っています。今では孫と付き合う体力の違いを感じる今日この頃です。

大きな病気もせず、年に数回の国内外、お寺参りへと旅をしています。その都度、打合せや反省会と大勢の旅友と楽しんでます。

茶の湯では、人生の先輩に母のように御指導を戴き、気候が良くなれば帯を締め心を引き締め、心身ともに今の自分を続けていけるよう心掛け、身近の方々に感謝々々の毎日をおこなっております。

「NTTグループ生活支援・介護ボランティア愛媛」の活動状況 (平成13年度)

	内 容	利用数	延べ日数	延べ活動時間
訪問	趣味の相手(編物)	1人	4日	4 時間
生活支援ボランティア	愛松園の行事支援	7件	14	334
	庭木の剪定等	10	24	125
	小計	17件	38	459
介護ボランティア	身体介護	2人	36	44
	ディサービス介護	1	29	159
	入浴介助	1	4	4
	病院付添	1	1	2
	小計	5人	70	209
合計		23人・件	112日	672 時間

テルウエルだより

「NTTグループ生活支援・介護ボランティア愛媛」総会開催

平成十四年四月十八日、NTTプラザ松山において、標記ボランティアグループの第三回定期総会が会員四十二名の参加のもと開催されました。

総会では、平成十三年度の活動内容の報告及び平成十四年度の活動方針の審議等が行われました。平成十三年度の活動状況は次表のとおりです。

次に、平成十四年度の活動方針については、NTTやテルウエルの構造改革、愛松園の閉鎖等もあり、従来とは環境条件が大きく変わって来ましたが、少子化、核家族化、高齢化がますます進んでいる社会情勢を踏まえ、「NTTグループ職域」を中心として「困ったときはお互いさま」を合言葉に「安心して暮らせる社会」をつくるための活動を行うこととし、以下の方針を満場一致で決定しました。

- ① NTTグループ各社の社員、退職者、その家族及び遺家族の皆様、当会の活動内容について、広くPRし、浸透を図ります。
- ② 当会の目的達成のためには、利用者の拡大が第一であり、そのために、「NTTグループ職域」を中心に、地域や団体との連携も図りながら、その掘り起こしに努めます。
- ③ 引き続き会員の確保に努めるとともに、会員相互の親睦と互助運動に努めます。
- ④ 利用者の皆様に、安心して利用していただけるよう、ボランティア活動の知識や技術習得のために、会員の研修会を計画的に実施します。
- ⑤ 社会福祉協議会や地域及び他団体との連携を図りながら、ボランティア活動のネットワーク作りに努めます。
- ⑥ 事務処理体制を確立するとともに、利用者及び会員相互の連絡を密にし、円滑な運営に努めます。

「テルウエル香川介護サービスセンター」総会開催

平成十四年七月二十四日、NTTプラザ高松において、標記グループの定期総会が、ボランティア会員四十七名の参加のもと開催されました。

平成十三年度の活動内容は、①生活支援活動として、庭木の剪定、室内の掃除等十六件
②訪問・はがき・電話による高齢者等への見舞い三十件
③介護活動、病院への付添い等二件でした。

平成十四年度の活動に当たっては、テルウエルのライフアドバイザーが廃止されたことに伴い、今後は自主運営を求められていることから次の事項を確認しました。

- ①県内各地のOBの皆様の健康等に関する情報を得るために、地域ネットワークを整備し、核要員を七地域に配置する。
 - ②従来、介護サービスの利用申込み時に、ライフアドバイザーが利用方法についてコーディネートしていたが、今年度からは「判定委員会」が担当することとし、より良い介護サービスを行うとともに活動の充実を図る。
- また、生活支援、訪問介護、介護支援を引き続き実施する。特に、七十八歳以上のNTT・IOBの方全員に対する「お元氣コール」(電話訪問)を今年度の重点項目として実施する。

なお、役員改選において、村尾良一会長が退任され、新会長に松尾礼徹氏が選任されました。

サークル紹介

NTT-OB香川琴同好会

村上 好子 (高松市)

香川電友会は今年発足四十周年を迎えました。私たちの琴同好会(宮城会)は、一歳年上の四十一年になり、昨年は四十周年を記念して他の社中の後援を頂いて大きな演奏会を開催しました。

発足当初は、高松電話局の宿直室へ先生をお迎えし、休憩時間を利用して多数の弟子が交代で稽古をしていました。

時代が移り電電公社からNTTへ、先生も伊賀操先生から伊賀定子先生に、弟子も現役社員がいなくなり、現在はOBばかり十名が、日本古来の心なごむ曲を、どうすれば皆様の心に届けられるか苦心しながら稽古をしています。

十三本の糸から出る美しい音色は、私たちの年代の人達には無理なく胸に響くのか、週一回のOBサロンでの練習時には隣の電友会事務所や、サロンで碁を楽しんでいる人達にも快く受け入れられているようです。

私たちがとって嬉しかったことの一つに、今年の香川電友会総会で琴の演奏を頼まれたことです。総会は時間も限られているし、演台もない場所なので、長寿会員へのお祝い贈呈の時に『六段の調べ』を弾きました。時間は短かったのですが、会場の皆様にとっても喜んでいました。

今は秋の演奏会に向けて練習をしています

が、その曲が出来上がり演奏が終わって先生からお褒めの言葉を頂いたときの嬉しさは言葉で言い表せないほどのです。

昔は五十の手習いと言われていましたが、長寿社会の現在では「六十、七十の手習い」ではないでしょうか。もし、糸にさわって見ようかと思われる方がおられたら、いつでも結構ですから気安くお声をかけて下さい。私たちの仲間が増えることは嬉しいことです。



月見の会 (13. 9. 30)

シニアネットよさこい

松本 旬平 (高知市)

五年程前に、OBサロン「おびやまち」へNTTのご好意によりパソコンが設置されました。その際、NTTの肝入りで、「OBの皆さんで勉強会をやるよ」ということになりました。

出版物の紹介

このたび、九州電電同友会熊本支部会員の大家虎之助氏が「日本電信情報史/極秘電報に見る戦争と平和」を出版されました。

この本は、電信(電報)による情報がどのように戦争の開始と終結につながったかを、多くの電報を引用して組み立てられており、四八〇ページに及ぶ書ですが、写真小説を読むように引き込まれる内容となっています。

氏は本書のオビ紙で「激務に耐えて電信を確保し、歴史的証言」を送りつづけた、すべての電信にたずさわった人々に本書を捧げる」とも述べておられます。

電友会会員には、出版元が書店定価の20%引きの二千円(送料別)で販売しています。(お問い合わせは、電友会四国地方本部へ)

当初は三十名程の希望者(殆ど女性)が集まり、ワイワイやっておりますが、平成十年五月十四日に、「シニアネットよさこい」として活動を開始しました。平たく言えば、「パソコンおばちゃん会」とも言えるもので、現在も継続して活動を行っております。お陰様で、会員はその後インターネット、メール等々着実に上達し、一人前のパソコンおばちゃんとして自負しております。これも熱心に指導に関わって下さった方達のお蔭と感謝しているところです。

現在、会員は三十七名で、毎週木曜日の午後、OBサロン「おびやまち」に集合し、三台のパソコンを使って、更に習熟度を向上すべく、みんなで励んでいる次第です。

M・Mコーナー

私とパソコン

上田 昇(松山市)

☆ パソコン購入の動機

NTT愛媛支店のマルチメディア教室へ。講師は丁寧な教えてくれるが、私はなかなかついていけない。わかったようだが、教室を出るともう忘れていく。自分の手元にパソコンがないと理解はしたいと思い、電友会の斡旋で「COMPAQ」を購入。購入したことは正解だった。

☆ 電友会のパソコン教室へ

数回の研修で電子メールの送受信は何とか可能になっていったが、基本的なことがテキストを読んでさっぱり分からない。電友会でパソコン勉強会があることを知り参加。先生はベテラン揃いの陣容。初歩的なことを何遍聞いても丁寧な個人指導して貰えるのがあるがありがたい。お蔭様で現在八十歳の私がいよいよ出来るようになった。また、「今パソコンが動いてくれない」と先生方へ連絡すると直ちにはせめて参じて貰える「お助けマン」制度。NTT・OBであった良かったと感謝している。この勉強会がなかったら恐らく私は一生パソコンとは無縁だったろう。



☆ パソコンの効用

- ① 電子メールで多くの人々との交流。
- ② デジタルカメラを肩にいろいろな行事の撮影に出かけて行動範囲が広がった。
- ③ 写真処理などでいろいろ工夫を考えて出来上がったときの喜び。
- ④ パソコン勉強会で沢山の会員との会話の出来ること。独居老人(?)にとって一番ありがたい。
- ⑤ トランプ・麻雀など相手の顔色・時間を気にすることなくパソコンで楽しむこと。
- ⑥ 少しは老化防止に役に立っているのではないか。「若い若い」と人は言う。

☆ パソコンを始めた人へ

電友会のパソコン勉強会へどうぞ。なお、パソコン・プリンターを購入・買換えの時は、ベテラン先生方の助言を受けるのが得策。

インターネット愛好会への入会をお勧めします。年会費千円(愛媛の場合)。

電子メール、勉強会での交流をしませんか。

ボランティア紹介

でんでん宿毛・大月OB会

代表者 石黒 清(宿毛市)

「でんでん宿毛・大月OB会」は、地域限定・自主運営を基本方針に、十年前に結成さ

れ、会員数は現在五十二名です。

その具体的な活動は、文化部、親睦部、ボランティア部、保健スポーツ部、会報の五部門に別れ、それぞれの部門が自主的に企画・運営しております。

その中のボランティア部の平成十三年度以降の活動状況は次のとおりです。

- (1) OB会としてのボランティア活動
 - ① 五月十八日、元宿毛営業所の刈込、剪定。参加者二十五名
 - ② 五月十八日、楠山公園除草・清掃。参加者二十名
 - ③ 九月七日、西南豪雨被災会員激励訪問。参加者四名
 - ④ 九月二十六日、西南豪雨災害義援金拠出。四十七名四万七千円
 - ⑤ 十一月十三日、とまろっと公園清掃。参加者二十名
 - ⑥ 平成十四年六月四日、元宿毛営業所の刈込、剪定。参加者三十一名
- (2) いつでも、だれでもできるボランティア活動
 - ① 五月十八日、使用済み切手収集。一八四三枚
 - ② 平成十四年五月八日、使用済み切手収集。一六四三枚
- (3) 個人ボランティア活動の発掘と奨励
 - (例) ・西南豪雨被害者宅復旧のお手伝い 七月中に四名が六回実施
 - ・宿毛駅周辺の草花植え替え・清掃 七名十六回
 - ・老人ホーム慰問 等々

俳句

(香川)

もう二穴わが庭からの蟬門出
夏雲に球児闘志を燃やしけり
蓮池に昔の風や林泉わたる
コスモスやまなざしやしひと立ちぬ
霧もまた夕影まとふ色もちて
帰省子の風の如くに発ちにけり
鯉跳ねて水面に萩の影乱す
パレットの紺青濃ゆく秋暑かな
踊る輪に赤のはっぴの車椅子
末枯の揺れ足許にまつわりぬ
色褪せし千人針や終戦日
金婚の来し方語る夜半の秋
二階より本線航路見ゆ網戸

赤井 唯好
池田 治豊
井出 巖
河端 豊
佐藤 君代
四宮 博
谷條 昭平
土居 松風
中山 忠彦
東原シズ子
三井 昭
村尾 和子
横田 浩



敬弔

次の方が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

故人のお名前 逝去年月日 享年 居住地

森木 幹彦様	14.14.14	77	高知市
田村 末吉様	14.14.14	77	大洲市
井上 清様	14.14.14	77	西条市
前田 一郎様	14.14.14	77	穴吹町
芝田 膳吉様	14.14.14	77	宇和島市
正木洋一郎様	14.14.14	77	那賀川町
野村 俊様	14.14.14	77	南国市
新見ヨシエ様	14.14.14	77	高松市
金井 満隆様	14.14.14	77	高松市
合田 義親様	14.14.14	77	高松市
上田 照義様	14.14.14	77	松山市
宮武 信夫様	14.14.14	77	松山市
神野佐治郎様	14.14.14	77	坂出市
児玉 俊明様	14.14.14	77	新居浜市
中川 直弘様	14.14.14	77	松山市
神元 謙成様	14.14.14	77	松山市
嶋津 敏洋様	14.14.14	77	松山市
北島 文雄様	14.14.14	77	松山市
手島 泉様	14.14.14	77	徳島市
岩崎 一水様	14.14.14	77	春野町
原 昭二郎様	14.14.14	77	高知市
大崎 輝喜様	14.14.14	77	高松市
阿部 正隆様	14.14.14	77	伊野町

物故者叙位叙勲

勲六等旭日章 馬木 一夫様
従六位勲五等瑞宝章 岡本慶四郎様
勲六等瑞宝章 森木 幹彦様
勲六等瑞宝章 金井 満隆様
従六位勲六等旭日章 合田 義親様

表紙の言葉

涼感 近藤 健策(松山市)

編集後記

秋田県田沢湖町の「友情の滝」です。時期は十月下旬、期待した紅葉は今一つでしたが、二つに別れて流れ落ちる様が美しい情景でした。

▽つい先日までの暑さが嘘のような日々となりました。四季がある地帯に住んでいる者の有難さだと思えます。これからのシーズンを有効にお過ごしください。(稲毛)

四国電友会会報 第一二〇号
発行 平成十四年十月一日
編集 電友会四国地方本部
松山市一番町四一三
電話 ○八九一九三六―二〇二三
印刷 NTT西日本愛媛支店内
NTT四国電話帳株式会社



NTTマーケティング アクト四国

ビジネスを変えるインパクト。それがわたしたちのパワーです。
先進のITソリューションから、人材のアウトソーシングまで。NTTマーケティングアクトは、
新発想のソリューションでビジネスを拓きます。

主要事業内容

- テレマーケティング事業
- コールセンター事業
- ヒューマンリソース事業(人材派遣)
- ソリューション営業
- NTT西日本愛媛支店から受諾した
116受付、電報受付、料金サービス 等

NTTマーケティング アクト四国



株式会社エヌ・ティ・ティ マーケティングアクト四国
松山市一番町4丁目2番地 089-936-3707(代表)
<http://www.nttact.com>